

# 演習Ⅱ

担当者 南方 建明

開講時期 通年 単 位 8

## ●講義の概要

修士論文を作成するための個別指導をおこなう。修士論文の完成に向けて、テーマの明確化、章別構成案の作成、先行研究や資料の収集と分析、草稿の作成など、修士論文の進捗状況に関する報告を求め、その内容を改善するための検討、指導をおこなう。

## ●講義の到達目標

修士論文の作成を通して、企業経営における課題を発見する能力、その課題の解決に向けて調査研究できる能力と思考方法を身につける。

## ●講義計画

- 第1回 修士論文テーマの設定
- 第2回～3回 修士論文構成案の作成
- 第4回～13回 修士論文研究内容の報告とディスカッション
- 第14回～15回 修士論文中間報告会の報告案の作成
- 第16回～18回 修士論文中間報告会の報告内容の確認
- 第19回～30回 修士論文研究内容の確認

## ●成績評価基準と方法

修士論文作成に向けて、すべての講義に出席し、主体的に研究報告していくことは当然として、修士論文の内容について副査の先生方からの評価をもとに協議し、成績を評価する。

評価方法とその割合は、毎回の発表内容（30%）、修士論文の内容（70%）とする。

## ●テキスト又は参考文献

[テキスト]

受講者各自の研究計画に沿った教材を選定する。

[参考文献]

修士論文のテーマに関連する文献や資料を適宜紹介する。

## ●受講上の留意点

講義計画に沿って、早め早めに修士論文に取り組み、完成させる必要がある。そのため、講義に先立つ研究報告の準備と、講義におけるアドバイスを踏まえた修正や加筆を迅速に行い、研究を深化させていくことが必要である。